



収穫作業に汗を流す

中学2年生が農業を体験

8月22日、町内にある農場3か所で、中学2年生の農業体験が行われました。

当日は気温30度を超える真夏日で、生徒たちは汗を流しながらも、草取りや収穫などの作業を一生懸命に行いました。



夏の夜を照らす光

さんさん館で行灯が点灯

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった「つべつ七夕まつり」ですが、笹と短冊、行灯の展示が8月6日、さんさん館で行われました。

設置された多くの行灯を見に訪れた方は、記念写真を撮影し、夏の思い出となりました。



夏休みの勉学をサポート

津別町公設民営塾「Plus」で中学生が勉強

7月22日～8月12日の期間中、津別町公設民営塾「Plus」で中学生の受け入れが行われました。

通常は、津別高校生と町内在住の高校生を対象としている学習塾で、夏休みの期間だけでしたが、参加した中学生は塾の雰囲気を経験することができました。



駐車場を整備

河西建設㈱が舗装整備ボランティアを実施

8月9日、河西建設株式会社による中学校駐車場の無償舗装整備が行われました。

同社による社会貢献活動の一環として実施されたもので、舗装の膨らみやひび割れなどの整備が行われ、利用者の安全性が向上しました。

津別町の移住・定住サポート 2022

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

人口減少が続く津別町は、移住・定住サポートデスクを開設し移住希望者のサポートを行っています。昨年度16の方がサポートデスクを通じ、津別町に移住し、カフェやパン屋さん、サロン、福祉施設など新たな事業を立ち上げました。この動きをサポートした、移住・定住サポートデスク担当の都丸さんに、津別町への移住のおすすめポイントを聞きました。

テレワークが進む現代の、津別移住最前線取材しました。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日
ごろ更新
《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎ 77-8374



クマヤキを外で堪能

道の駅あいおいに屋外テントが設置

8月1日、道の駅あいおいのクマヤキハウス横に、屋外テントが設置されました。

クマヤキなどを食べる飲食スペースや地元野菜の販売などを目的に設置されたテントには、クマヤキの絵がデザインされています。



緊急時の電力として

道の駅あいおいに発電機を寄贈

8月10日、一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部より、道の駅あいおいに発電機が寄贈されました。

同協会による社会・環境貢献活動の一環として寄贈された発電機は、緊急時等における地域住民の安全・安心の確保に役立てられます。